

会議状況等報告書								報告者	杉				
会議の名称		令和6年度第1回大府市多文化共生推進委員会											
日 時		令和6年6月14日（金）18時00分～19時00分							場所	市役所地下会議室001			
出席者	推進委員	松宮 委員長	大嶋 委員	岡田 委員	竹内 委員	嘉無木 委員	二村 委員	北嶋 委員					
		○	○	○	○	○	○	○					
	事務局	山口 副市長	近藤 部長	田中 課長	小林 係長	前田 主事	アダム CIR	杉 主事					
		○	○	○	○	○	○	○					
内 容（要点記録）													

- (委員) 行政サービスについて、市のウェブサイトで翻訳を実施しているが、ウェブサイトの情報に外国人がたどり着くまでの仕組みが不十分ではないか。外国人がウェブサイトをアクセスしやすくなるように工夫できないか。
- (委員長) 大府市の行政サービスを魅力に感じて、転入してくる市民もいる。転入する際に、行政サービスの内容を周知するとよい。
- (事務局) 検討する。
- (委員) (スマートフォン版の) ウェブサイトについて自動翻訳を実施しているか。
- (事務局) 実施している。PC の場合、市の公式ウェブサイトの右上に Foreign Language のタブがあり、クリックすると外国人向けのサイトが表示される。Google の翻訳機能を使用し、市の公式ウェブサイト全てのページを対応言語で閲覧することができる。
- ※スマートフォン版から多言語セクションへのアクセス方法
市の公式ウェブサイトのトップ画面の下方にあるタブのメニューを開く。画面上部の Foreign Language のタブをクリックし、各言語セクションの Start Translation をクリックすると、市の公式ウェブサイト全てのページを対応言語で閲覧することができる。
- (委員) ネパール語と韓国語の対応ができていない。
- (事務局) 確認する。※対応していることを確認済み
- (委員) 県営梶田住宅について、外国籍の住民が増加し、日本人の住民の割合が減少している。自治会についても、日本人の自治会員が減少している。現在、10ヶ国の住民が居住しているため、掲示板に多言語で情報を表示しきれない。したがって、やさしい日本語と絵で冊子を作成し、配付している。日本語が全く話せない世帯の外国人も増加している。日本人が少ない中で自治会を運営することが難しくなっている。
- (委員長) ビレッジハウスに住む外国人が増えている。梶田住宅が唯一の集住地区だと思っていたが、大府市は豊田市や豊橋市のように集住地域になりつつある。今後も地域の課題に対応した施策が必要になってくる。今後課題を集約して頂ければと思う。
- (委員) ビレッジハウスに自治会はあるのか。
- (委員長) あるところとないところがある。県営住宅はほぼ義務である。
- (委員) 自治会の加入自体は、法的に義務ではないが、県営住宅では住民が自治会に共益費を払い、住民が共通で使用している場所の電気代や水道代を払っているので、ほとんど全ての住民が自治会に加入している。
- (委員) 集住地区に住んでいる人の内訳はどうなっているか。文化圏の距離が遠い人たちが多くに対応の仕方が違うのではないか。調査が必要かもしれない。
- (委員長) ビレッジハウスを法人が借り上げ、社宅のような運営をしている場合もある。
- (委員) 共和プラザは不動産会社がゴミ出し等の管理を実施している。自治会ではなく、管理を外部に委託している場合もある。
- (委員長) 今後、検討が必要だと思うので、よろしくお願いします。

(3) 令和6年度就学前学習支援（プレスクール）について

(4) 令和6年度大府市日本語初期指導教室について

- (委員) 中学生でも日本語の初期指導が必要な生徒が多いのか。
- (委員) 昨年度まで神田小学校と大府小学校にいた生徒が中学生になり、人数が大幅に増加した。教科につながる日本語の習得が不十分なので、数か月を目途に日本語初期指導を実施している。教室で日本人の生徒と学習しても、授業についていけずに、日本語初期指導に戻ってしまう場合もある。
- (委員) 初期指導に関して、中学生が多いが、中学生の両親と会話をするのか。
- (委員) 初期指導の講師は、両親と直接会話しない。担任は両親と面談等で会話する機会がある。
- (委員) 両親は、子どもの母語教育や進路についてどのように考えているか。保護者とのコミュニケーションを含めた取組が大切だと思う。
- (委員) 母語相談を定期的実施している。懇談会の時期に母語指導員に来てもらい、進路の話をしてもらっている。親が永住するつもりでも、子どもが母国に帰りたいと考えている場合もある。
- (委員) 今回は日本の学校在籍の小中高生の子どもがいる親に「お子さんが家で勉強しているところを見ると何を考えますか？」をテーマにアンケートを実施した。回答者の国籍はブラジルで、5年以上日本に居住している人である。

(3) その他
特になし